令和2年度 学校自己評価

亀山市立亀山東小学校

学習指導 (外国語教) 育含む) 2	主な評価項目	今年度の取組と成果	課題と今後の改善策
(外国語教 た炭素の実施) [児童アンケ「投棄がよくわかる」87.1%(昨年 83.9%)] **		・対話活動を中心とした研究を進め授業改善を進めることができた。 ・ふり返りの充実(単元のふり返り、ふり返りの視点)	・みえスタの経年課題 (要約、根拠示す記述、小数、時間、割合、図形)の更なる改善。6年間の積み上げ
# ・	(外国語教	た。(調査、採点、分析、SP 表の活用、課題共有と改善補充授業の実施) 【児童アンケ「授業がよくわかる」87.1%(昨年	・英語授業の改善:アクティビティ場面、Cando リストに基づく児童の評価(ふり返り)・体力調査での二極化解消
生徒指導 進路指導 「児童アンケ「学校楽しい」92、3% (昨年86.8%)] 「児童アンケ「学校楽しい」92、3% (昨年86.8%)] 「児童アンケ「学校楽しい」92、3% (昨年86.8%)] 「空熱別授業456 年生で実施。少人数による補充学習の表底であり、SST や学級づくりの研修の充実図る。 「電温市学力向上か人数指導」 「常温市市学力向上推進計画(第 3 版)」の重点は低機管に限じまた。(長龍元のより返り活動の充実図る。 「電山市学力向上推進計画(第 3 版)」の重点は低機管ので表表である。「電」市学力向上推進計画(第 3 版)」の重点は低機管ので表表的表現を整備した。 「中名の3%が)、補充学習別律の生物で表表的で表表的な情報の一般を表現の場合、一般を表現を表現を表現を表現として、一般を表現を表現として、一般を表現を表現として、一般を表現を表現として、一般を表現を表現として、一般を表現を表現として、一般を表現を表現として、一般を表現を表現として、一点と、一般を表現を表現として、一点と、一点と、一般を表現を表現として、一般を表現を表現として、一般を表現を表現と生まる。「こて、活用による家庭学習の充実を図る。(個別遺化した学習課題、自ら進める 6 学習習慣の確立を放内指示、吸起ルールや選具使用の放内ルールの作成と、実際の機能を図るとともの情報を表現を生まるようにで、人権教育、直接、フォール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・ア			
理的指导 【児童アンケ「学校楽しい」92.3%(昨年86.8%)】 ・児童の居場所づくりは、不登校未然防止、生徒・学の表に、、学習規律の徹底と語彙を増やす教室掲示や言葉の学びを整備した。・習熟別接業456年生で実施、少人数による補充学習タイムは定期的に年間を通して実施、ク人数にお補充学習タイムに変更的に中間を通して実施(スキルアップタイム) [保護者アンケ: 児童への学習提伸の指導」100%(昨年80.3%)】 ・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・		要支援児童の情報共有、QU 調査(分析、学級プロ作成、マネジメントシート記入)で、児童理解を進め未然防止や	取組を継続する。SCや関係機関との連携も更に密
型力向上 少人数指導 「語熱別策業456年生で実施。少人数による補充学習タイムは定期的に年間を通して実施(スキルアップタイム) 「保護者アンケ:「児童への学習規律の指導」100%(昨年 80.3%)、「補充学習や少人数授業の実践」ともに肯定 100%(昨年 81.3%)】 ・感染予防を徹底した。全校一斉手洗いタイム、3窓回避を校内掲示、喚起ルールや遊具使用の校内ルールの作成と運営の徹底など。また、感染予防を徹底した行事(を対し、スポーツ・デー、入学卒業式)の開催。 ・薬物乱用防止教室開催、コロナ禍での健康被害の保健指導(薬剤師の指導を受けて)を実施。【保護者アンケ:「感染予防を徹底したの発性を表した。、上の情報、主要、10人権別は1分法を見直し、人権教材と道徳教材の活用を推進した。特支、通級、外国人児童に関する"個別の指導計画・支援制力を対した。」、1人 自端未を利用した対話学習、教師による研修討議(ロイロノト) 【保護者アンケ「一人びとりきめ細か支援」89.4%(昨年 76.1%)】 ・地域の人ものことを活用した学びの機会を書く学年に位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で異がらな力を養いたい。(農作物栽培体験学習、地域老人会参画、保めとの連携行事)(保護者アンケ「一人ひとりきめ細か支援」89.4%(昨年 76.1%)】 ・地域の人ものことを活用した学びの機会を書く学年に位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で要がにすることができた。(農作物栽培体験学習、参鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、地域老人会参画、保めとの連携行事)(保護者アンケ「地域と協働した学びの理技行事)(保護者アンケ「地域と協働した学習の実践」95.0%(昨年 77.79%)】 ・・地域の人ものことを活用した学びの機会を書く学年に位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で異がらることができた。(農作物栽培体験学習、参鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、地域老人会参画、保めとの連携行事)(保護者アンケ「地域と協働した学習の実践」95.0%(昨年 77.79%)】 ・・地域の人ものことを活用した学びの機会を書く学年に位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で実がよりな力を養いたい。(農作教技体験学習、地域老人会参画、保めとの連携行事)(保護者アンケ「地域と協働した学習の実践」95.0%(昨年 77.9%)】 ・・一般を含さた学習の場面で、自己課題設定がまり、一般を発達が、対している。「時間外 2月末現在 (別 2月 4 5 1 以 2 1 5 4 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5	進路指導	【児童アンケ「学校楽しい」92.3%(昨年86.8%)】	
学力向上 少人数指導 イムに定期的に年間を通して実施、少人数による補充学習分 イムに定期的に年間を通して実施(スキルアップタイム) 【保護者アンケ:「児童への学習規律の指導」100%(昨年 80.3%)、「補充学習や少人数授業の実践」ともに肯定 100%(昨年 81.3%)】 ・感染予防を徹底した。全校一弄手洗いタイム、3窓回避を校内掲示、喚起ルールや遊具使用の校内ルールの作成と運営の徹底など。また、感染予防を徹底した行事(修学旅行、スポーツ・デー、入学学業式)の開催。 ・薬物乱用防止教室開催、コロナ禍での健康被害の保健指導、力となって、その徹底を図るとともに、一分感染による人権侵害や差別を生まぬようにす、機能制度・機能の指導を受けて)を実施。【保護者アカ・「感染上よる人権侵害や差別を生まぬようにす、機能制度・対した。 ・特達、薬剤師の指導を受けて)を実施。【保護者アカ・「感染による人権侵害や差別を生まぬようにす、機能制度・対した。 ・特恵、通級、外国人児童に関する"個別の指導計画・支援計画"の整備100%、見直し年3回実施。記載内容は全て保護者との共有した。 ・特恵、通級、外国人児童に関する"個別の指導計画・支援計画"の整備100%、見直し年3回実施。記載内容は全て保護者との共有した。 ・ は、1人 1 台端末を利用した対話学習、教師による研修討議(ロイロノート)【保護者アンケ「一人ひとりきめ細か支援」89.4%(昨年76.1%)】 ・地域の人ものことを活用した学びの機会を書く学年に位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で豊かにすることができた。(農作物栽培体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、地域老人会参画、保めたの連携行事)【保護者アンケ「地域と協働した学習の実践」95.0%(昨年77.9%)】 ・地域の人ものことを活用した学びの機会を書く学年に位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で豊かにすることができた。(農作物栽培体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、地域老人会参画、保めたの連携行事)【保護者アンケ「地域と協働した学習の実践」95.0%(昨年77.9%)】 ・地域の人ものことを活用した学びの機会を書く学年に位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で豊かにすることができた。(農作物栽培体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、地域老人会参画、保めたの連携行事)【保護者アンケ「地域と協働した学習の実践」95.0%(昨年77.9%)】 ・影音で改革の大会・一部の自然を験・評価・まとめ発信・ふり返と進む本来の総合的な学習を行うこと。 ・「総合的な学習の支援・企り、関係のとから、コロ・潜での行事や活動の」直を進める、2日 186 (昨年33.4h 米ーⅡ1.6h)】【月45 以上動務者 本年度 16 人 *2 月末現在(昨日 1860)以上の時間外勤務の解消、体照 後、動務時間			
# 80.3%)、「補充学習や少人数授業の実践」ともに有		・習熟別授業 456 年生で実施。少人数による補充学習タイムは定期的に年間を通して実施(スキルアップタイム)	(単元のふり返り)や③"新たな評価活動の研究"を
を校内掲示、喚起ルールや遊具使用の校内ルールの作成と運営の徹底など。また、感染予防を徹底した行事(修工・業物乱用防止教室開催、コロナ禍での健康被害の保健指導、薬剤師の指導を受けて)を実施。【保護者アンケ:「感染予防の学校取組」98.4%】 人権教育 道德教育 道德教育 情報教育。食情報教育。食情報教育。食情報教育。食情報教育。食育等 情別支援教育 (ロイロノート) [保護者アンケ:「一人ひとりきめ細か支援」89.4%(昨年 76.1%)] 社会に開かれた教育課程 社会に開かれた教育課程 社会に開かれた教育課程 社会に開かれた教育課程 社会に開かれた教育課程 ・地域の人ものことを活用した対話学習、教師による研修計算に対している。(農作物栽培体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、始越を治過とができた。(農作物栽培体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、地域老人会参画、保幼との連携行事)【保護者アンケ「地域と協働した学習の実践」95.0% (昨年 77.9%)] ・働き方改革への意識が職場に醸成され、時間外削減は、着実に進んでいる。【時間外(2月末現在)/月21.8h (昨年 33.4h 来一川.6h)】 [月 45h 以上勤務者 本年度 16 人 *2 月末現在(昨年 76.0)」 「紅色に関かり」「保護者アンケ」を対した学習の実践」95.0% (昨年 77.9%)] ・働き方改革への意識が職場に醸成され、時間外削減は、着実に進んでいる。【時間外(2月末現在)/月21.8h (昨年 33.4h 来一川.6h)】 [月 45h 以上勤務者 本年度 16 人 *2 月末現在(昨年 76.0向上		年 80.3%)、「補充学習や少人数授業の実践」ともに肯	·ICT 活用による家庭学習の充実を図る。(個別最適化した学習課題、自ら進める h 学習習慣の確立)
成と運営の徹底など。また、感染予防を徹底した行事(修学旅行、スポーツ・デー、入学卒業式)の開催。 「中感染による人権侵害や差別を生まぬようにす」 「大権教育 道德教育・食育等」に一人権教材と道徳教材の活用を推進した。 「特支、通級、外国人児童に関する"個別の指導計画・支援計画"の整備100%、見直し年3回実施。記載内容は全て保護者との共有した。 「人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人			・コロナ禍における感染予防を考慮した教育課程や
保健安全 ・薬物乱用防止教室開催、コロナ禍での健康被害の保健指導(薬剤師の指導を受けて)を実施。【保護者アンウ:「感染予防の学校取組」98.4%】 ・人権加キュラムを見直し、人権教材と道徳教材の活用を推進した。 ・特支、通級、外国人児童に関する"個別の指導計画・支機計画"の整備100%、見直し年 3 回実施。記載内容は全て保護者との共有した。・1人 1 台端末を利用した対話学習、教師による研修討議(ロイロノート)【保護者アンケ「一人ひとりきめ細か支援」89.4%(昨年76.1%)】 ・地域の人ものことを活用した学びの機会を書く学年に位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で豊かにすることができた。(農作物栽培体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、一時でも大会を変し、「総合的な学習」についての研修を重ね、科を横断した深い学びを地域との協働で実置する、「経合的な学習」についての研修を重ね、科を横断した深い学びを地域との協働で実置する、「一般合的な学習を行うこと。「一般を横続し、成果が見られた時間外勤務の縮は、着実に進んでいる。「時間外(2月末現在(昨年33.4h *一11.6h)】 「和超を継続し、成果が見られた時間外勤務の縮)をさらに進めるため、コロナ禍での行事や活動の自直しを進める。・年間 360h以上の時間外勤務者の解消、体暇が有向上		成と運営の徹底など。また、感染予防を徹底した行事(修	いく。職員一丸となって、その徹底を図るとともに、コ
指導(薬剤師の指導を受けて)を実施。【保護者アンケ:「感染予防の学校取組」98.4%】 ・人権が1キュラムを見直し、人権教材と道徳教材の活用を推進した。・特支、通級、外国人児童に関する"個別の指導計画・支援計画"の整備100%、見直し年 3 回実施。記載内容は全て保護者をの共有した。・1人 1 台端末を利用した対話学習、教師による研修討議(ロイロノート)【保護者アンケ「一人ひとりきめ細か支援」89.4%(昨年76.1%)】 ・地域の人ものことを活用した学びの機会を書く学年に位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で豊かにすることができた。(農作物栽培体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、地域老人会参画、保幼との連携行事)【保護者アンケ「地域と協働した学習の実践」95.0%(昨年77.9%)】 ・働き方改革への意識が職場に醸成され、時間外削減は、着実に進んでいる。【時間外(2月末現在)/月21.8的(昨年 33.4h 米ー11.6h)】 【月 45h 以上勤務者 本年度 16 人 *2 月末現在(昨年度比-76 人)】			ロナ感染による人権侵害や差別を生まぬようにする 人権教育の充実を図る
進した。 ・特支、通級、外国人児童に関する"個別の指導計画・支援計画"の整備100%、見直し年3回実施。記載内容は全て保護者特別支援教育情報教育・食育等 「代職者アンケ「一人ひとりきめ細か支援」89.4%(昨年76.1%)] 「大きなに関かれた、教育課程 ・地域の人ものことを活用した学びの機会を書く学年に位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で豊かにすることができた。(農作物栽培体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、地域と協働した学習の実践」95.0%(昨年77.9%)] ・働き方改革への意識が職場に醸成され、時間外削減は、着実に進んでいる。【時間外(2月末現在)/月21.8的(昨年33.4h 米ー11.6h)] 「別等の方法とものという。」・取組を継続し、成果が見られた時間外勤務の縮減は、着実に進んでいる。【時間外(2月末現在)/月21.8的(昨年33.4h 米ー11.6h)] 「月45h 以上勤務者 本年度16人米2月末現在(昨年度比一76人)]		指導(薬剤師の指導を受けて)を実施。【保護者アンケ:「感	·CS 創立の下で、地域とより連携協働した防災訓
人権教育 道徳 教育 接側 100%、見直し年 3 回実施。記載内容は全て保護者 との共有した。 ・1人 台端末を利用した対話学習、教師による研修討議 (ロイロノート) 【保護者アンケ「一人ひとりきめ細か支援」89.4%(昨年 76.1%)】 ・地域の人ものことを活用した学びの機会を書く学年に 位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で豊かにすることができた。 (農作物栽培体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、地域老人会参画、保幼との連携行事) 【保護者アンケ「地域と協働した学習の実践」95.0%(昨年 77.9%)】 ・働き方改革への意識が職場に醸成され、時間外削減は、着実に進んでいる。【時間外(2月末現在)/月21.8h(昨年 33.4h *—11.6h)】 【月 45h 以上勤務者 本年度 16 人 *2 月末現在(昨年 年度比-76 人)】		進した。	・6 年間を見据えた系統的な人権学習のカリキュラム構築
(保護者アンケ「一人ひとりきめ細か支援」89.4%(昨年 76.1%)] ・地域の人ものことを活用した学びの機会を書く学年に 位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で豊かにすることができた。 (農作物栽培体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、地域老人会参画、保幼との連携行事) 【保護者アンケ「地域と協働した学習の実践」95.0% (昨年 77.9%)] ・働き方改革への意識が職場に醸成され、時間外削減は、着実に進んでいる。【時間外(2月末現在)/月21.8份(昨年 33.4h 米―11.6h)】 【月 45h 以上勤務者 本年度 16 人 *2 月末現在(昨年度比-76人)】 ・ICTによる指導の充実と個別最適化した学びの課現。 ・「総合的な学習」についての研修を重ね、利料を横断した深い学びを地域との協働で実践する。・体験を交えた学習の場面で、自己課題設定探求(調査体験)・評価・まとめ発信・ふり返と進む本来の総合的な学習を行うこと。	教育 特別支援教育	整備 100%、見直し年 3 回実施。記載内容は全て保護者との共有した。	・教育活動全体による横断的な学びの場面を道徳 の指導に設定する。"相手の立場に立って考える"場 面や日々のなかまの"善行"を取り上げるなどで実
【保護者アンケ「一人ひとりきめ細か支援」89.4%(昨年76.1%)】 ・地域の人ものことを活用した学びの機会を書く学年に位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で豊かにすることができた。(農作物栽培体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、地域老人会参画、保幼との連携行事)【保護者アンケ「地域と協働した学習の実践」95.0%(昨年77.9%)】 ・働き方改革への意識が職場に醸成され、時間外削減は、着実に進んでいる。【時間外(2月末現在)/月21.8h(昨年33.4h *—11.6h)】 【月45h以上勤務者本年度16人*2月末現在(昨年度比-76人)】 ・ICTによる指導の充実と個別最適化した学びの設定。 「総合的な学習」についての研修を重ね、科を横断した深い学びを地域との協働で実践する。・体験を交えた学習の場面で、自己課題設定探求(調査体験)・評価・まとめ発信・ふり返と進む本来の総合的な学習を行うこと。 ・取組を継続し、成果が見られた時間外勤務の縮減をさらに進めるため、コロナ禍での行事や活動の直しを進める。・年間360h以上の時間外勤務者の解消、休暇が得の向上			践的な力を養いたい。
社会に開かれた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で豊かにすることができた。 (農作物栽培体験学習、鈴鹿川の自然環境学習、大豆の加工体験学習、地域老人会参画、保幼との連携行事) 【保護者アンケ「地域と協働した学習の実践」95.0%(昨年 77.9%)】 ・働き方改革への意識が職場に醸成され、時間外削減は、着実に進んでいる。【時間外(2月末現在)/月21.8h(昨年 33.4h *—11.6h)】 【月 45h 以上勤務者 本年度 16 人 *2 月末現在(昨年度比-76 人)】	F 7	【保護者アンケ「一人ひとりきめ細か支援」89.4%(昨年	·ICT による指導の充実と個別最適化した学びの実現。
た 教育課程 に	31 A 15 88 1. 1a	位置付けた。体験や活動を伴う学びを地域との協働で豊	・「総合的な学習」についての研修を重ね、教 科を横断した深い学びを地域との協働で実践 する
は、着実に進んでいる。【時間外(2月末現在)/月21.8h (昨年33.4h *—11.6h)】	た	加工体験学習、地域老人会参画、保幼との連携行事) 【保護者アンケ「地域と協働した学習の実践」95.0%	・体験を交えた学習の場面で、自己課題設定・探求(調査体験)・評価・まとめ発信・ふり返りと進む本来の総合的な学習を行うこと。
総勤務時間 年度比-76人)】 得の向上	総勤務時間 の縮減	は、着実に進んでいる。【時間外(2月末現在)/月21.8h (昨年33.4h *—11.6h)】	
			・衛生推進員会を通じた職場全体での参画、労働
より提案。ベクトルを合わせと効率的な業務推進を図って きた。同時に"働き方改革"についての校内研修とし、改 革への目的の共有と意識の向上が図られた。 環境の整備を実効性あるものに高める。職場組織 担うものの人材育成も併せて整える必要がある。		きた。同時に"働き方改革"についての校内研修とし、改	環境の整備を実効性あるものに高める。職場組織を 担うものの人材育成も併せて整える必要がある。